取扱説明書 <安全編>

Velbon



お手入れ・アフターサービス

- ご使用後は湿った布で汚れを拭き取った後、乾いた布 でよく拭いて保管して下さい。特に、海岸や温泉地域 でのご使用後は、そのままの状態で放置すると錆や故 障の原因となりますのでお気をつけ下さい。
- ●雨などで三脚が濡れてしまった場合は、乾いたきれい な布で水分をよく拭き取り、脚部は全段を伸ばしてよ く乾かして下さい。脚パイプの奥まで濡れてしまった 場合は、一度点検に出すことをお勧めします。お客様 ご相談センターまでご連絡下さい。
- ●清掃の際は、シンナー等の薬品は使わないで下さい。
- ●修理または部品を紛失した場合は、販売店か、下記の お客様ご相談センターへ直接お問い合わせ下さい。 本製品の性能部品は製造終了後5年を目安に保有して おります (この期間後であっても修理可能な場合もございます)

●製品や保証について等、疑問に思うことがあれば下記 のお客様ご相談センターまでお問い合わせ下さい。







Please observe.

In order to use this product correctly/safely, please read this carefully before use and understand the contents. After reading, please keep this. In order to prevent you and other people from danger and damages of property, please read and oberve this. The followings are explanations:

Ignoring the contents of indication may cause wrong use of products. Wrong use of products may cause harms and damages. The following indications express degrees of harm and damage.



Caution

harm

Warning: The column of this indication means that there is possibility of death or serious injury. The column of this indication means that there is possibility of injury or physical

The following indications mean the contents of category.



Caring • After-sales service

- After use of the products, wipe it with wet cloth. Then wipe it with dry cloth and keep. In particular, after use of the products at the seaside, area of hot spring and so on, cleaning is necessary. Non-cleaning may cause rusts and troubles.
- In case tripod is wet by rain, etc., wipe it with dry cloth. Make sure that it is completely dry, especially legs. Extend all the legs and dry them completely. In case leg pipe is wet, severe inspection is recommended.
- Do not use any chemicals such as thinner when cleaning.
- The manufacturer reserves the right to change specifications, design, and size without prior notice.

equipments. In case of souping up products,

warranty does not apply.

In order to use Velbon products correctly, safely



panhead. Handle of the panhead or others

may hit the face. Take good cautions when

operating it.

取扱説明書

各部の名称



※記載数値は平均的な値です。製品は組み合わせ部品で構成されておりますので、記載数値と若干異なる場合があります。 ※製品改良のため、予告なしに仕様・デザイン・諸元等を変更することがありますのでご了承ください。



三脚をしっかり持ちながら、三本の脚を開 いていき、全ての脚が180度逆になるまで 完全に開きます。



回転させ、ロータリーハブの白い点とボディ の白い線を合わせた位置にします。

▲ カメラを取付けた状態でのセッティングは、落下・破損の原因となるのでおやめ下さい。 セッティングの際は三脚をしっかりと持ち、慎重におこなってください。 1-3.セッティング

3箇所の開脚調整ノブがそれぞれ左端に なっていることを確認し、脚を開くと通常開 脚となります。



EVロックナットを上記の緩む方向に回し、 エレベーターを下げます。

[▲] 使用後に三脚を元の状態にたたむ場合は、上記の逆の手順をおこなってください。 その際、脚はゆっくりと静かに戻して下さい。



Velbon



ネジつまみを起こして回し、しっかりと確実 るように取り付け、下に押し付けるとレバー に取り付けて下さい。 が戻り半自動固定されます。さらに指でレ バーを押し込み、確実に固定してください。

▲ カメラを取り付ける際は、必ずカメラをしっかりと保持しながら慎重に行って下さい。クイックシューが装着部からはみ出したりせず、動かずに確実に固定されている事を確認して下さい。 なおクイックシュー取り付け時に、シュー固定レバーは勢いよく戻ります(半自動固定)。危険ですので、手や顔を近づけないで下さい。



背当てをおこすと、カメラ縦位置時のレンズ 重さによる前倒れを防ぐことができます。背 当てはカメラネジ位置を移動させて、カメラの 背面にうまく合わせてください。

※カメラ背面の形状によっては機能しない ことがあります。





②トルク調節ダイヤルを回して、締め込みます(ストッパーが緩まなくなります)。
③ガイド表示のメモリリングを上図矢印の方向に回して、Oに合わせます。これで作動時=0の表示になります。

▲ メモリリングを回す際に、グリスで手を 汚さないようご注意下さい。

8-2.開脚角度の調整



開脚角度は各々の脚で自由に設定すること が可能です。不整地などで三脚を使う場合 には有効です。

※UTC-63は一般的な「ローポジション」には なりません(エレベーターは分割しません)。



カメラをしっかり保持しながら、ストッパーを 緩めると、カメラを自由に動かすことができ ます。アングルが決まったらストッパーを締 めて固定し、シャッターをきります。

ストッパーを緩めると重さでカメラが急 へに倒れます。レンズをぶつけて破損しな いよう、十分注意して操作して下さい。



雲台を外す場合は、ストッパーとパンストッ パー、三脚のEVロックナットの3つをしっかり と締め、雲台全体を反時計方向に回して外 してください。他の雲台に交換可能です。

※雲台取付ネジ=UNC1/4(細ネジ)※他の雲台の使用時は、脚を反転して最後 まで正しく収納することはできなくなります。



脚を伸ばすには脚先端の石突を握り、緩む 方向に「カクッカクッ」と段数の節目分の抵抗 が止まるまで一気に回します。脚を最後ま で引き伸ばしたら、石突を締まる方向にきつ めに回し固定します。脚を縮める際は、逆の 手順をおこなって下さい。



パンストッパーを回し緩めると、水平方向 のみを独立して回転させることができます。 構図を重視するような撮影で、フレーミング を調整する際に便利です。

各ストッパーを、緩む方向の最端以上 たは強く回さないで下さい。故障の原因 となります。



EVロックナットを上図緩む方向へ回すと、 エレベーターを伸ばすことができます。必 要な位置でEVロックナットを締まる方向へ 回し固定します。

▲ エレベーター操作時は、必ずカメラを 手で支えながら行って下さい。

10.脚の長さ調整



脚の長さを調整するには2段目の調整用グ リップを握り、矢印の緩む方向に回してから おこないます。調整後は矢印の締まる方向 へきつめに回し、脚を固定します。

5-1.雲台のトルク調節



ボール可動部のトルクは、使用する機材に 合わせて調節することができます。ストッパ ーを一度緩めてから、下記の手順でおこなっ て下さい。

 ストッパーを作動時に丁度良い重さになる 位置まで締めます。

8-1.開脚角度の調整



脚を少し閉じた状態で、開脚調整ノブをず らすと開脚角度を変更できます。開脚調整 ノブは左位置が通常開脚、中央位置がセミ 開脚、右位置がフル開脚となっています。 通常は3本の脚を全て同じ開脚角度にして 下さい。

下さい。

EVロックナットについて (How to reset the Locking nut to the original position.)



本製品のEVロックナットは、上方向にずらすと動きます。これは当社サービス部門でメ ンテナンスをする際に分解するためですので、通常はずらさないようご注意下さい。なお、 ずらした状態のまま回してしまうと、エレベーターのロックが正常にできなくなる恐れがあ ります。その場合は一度下記の手順で部品を初期位置に戻して下さい。

Be careful rotating EV lock nut too far beyond the stop key, which disassembles locking mechanism mainly for the repairing service after lifong term use. Please return the EV locking nut to the original settings in case you turn too much beyond the stop key.

※安全のため、作業をする際は必ず三脚を寝かせておこなって下さい。 ※エレベーターは少し伸ばして下さい。

*If you continue to rotate EV locking nut several times beyond the stop key, y the elevator becomes disassembled. After all inside parts may be lost or missing by accident. It makes impossible to assemble again without some necessary parts missed. Please kindly ask manufacture or service center in case of maintenance by disassembling the tripod.



①EVロックナットをそのまま締めて下さい。 ②EVロックナットを押し上げた状態のまま左右どちらかへ回し、丸い目印を移動させます。 ③丸い目印と白い線が合った位置でEVロックナットを押し下げて戻します。

※EVロックナットが締まる位置は一定ではありません(上図イラストと異なる場合もあります)。

🕂 回転止めを超えて緩めすぎてしまった場合には(In case that you loose too much beyond the stop key.)

■「回転止め」を乗り越えて緩めすぎてしまった場合は、 How to return to the original condition of the EV lock nut 下記の手順で戻して下さい。 after rotating too much. 1 (2) 3 (4) ヨッン 回転止め (Click) (Stop key) (5) $\overline{(7)}$ 6 又は (Or)

①EVロックナットをそのまま締めて下さい。②回転止めに当たり止まります。 ③EVロックナットを押し上げた状態で回し、回転止めを乗り越えさせます。 ④乗り越えたらEVロックナットを押し下げて戻して下さい。 ⑤エレベーターが固定される位置まで続けて締めて下さい。

(エレベーターが固定されない場合は、①~⑤を繰り返しおこなって下さい)。

⑥締まったらEVロックナットを押し上げながら左右のどちらかへ回し丸い目印を移動させます。

⑦丸い目印と白い線が合った位置でEVロックナットを押し下げて戻します。

※EVロックナットが締まる位置は一定ではありません(上図イラストと異なる場合もあります)。

(①Tighten and lock the EV locking nut as usual. ②Rotating to clockwise direction may touch the stop key, with a click sound. ③Pull up the EV locking nut and turning to clockwise direction, continues to rotate beyond the stop key. ④After go over the stop key, then push down the EV locking nut to the original position. ⑤Try to rotate till locking the elevator firmly, to clockwise direction. ⑥After making sure the locking tightly, pull up whole EV lock nut and rotate to anti-clockwise direction, then align white dot and white line. ⑦Make sure white dot and white line aligned, then push down the whole EV locking nut back to the original position.

*Please lay down the tripod while returning the elevator locking nut to the original position.

*Depends on the tripod, the position that the locking nut comes to fix tightly. It may not be the same as example drawing above.

<u>小</u>脚ロックについて(Locking and extending legs)

本製品は脚の段数が5段と多いため、石突を回して脚を固定する際は最上段まで 力が確実に伝わる様、しっかりと回して下さい。また一度では固定しきれない場合は、 調整用グリップを握って上段部分を増し締めし、固定して下さい。

7 This 5-section legs require to twist 4 times until every lock can be released for extending. Please grasp the leg tip and make sure twisting with enough strength to effect upto the top sections. In case it is not enough to release top part of the locking, please try additional twisting at the foam grip with adjusting. Make sure locking tight before install camera or lenses on the top.

